



農福連携事業9年目のスタート!!



ゴールデンウィークが過ぎ県内各地の水田も田植えが進み、今年の農作業も本格的にスタートいたしました。同時に、『農福連携事業』も事業スタートから9年目を迎え作業マッチングの受注・問い合わせなど順調に推移しています。

これもひとえに農家の皆様をはじめ様々な方々のご理解とご協力に支えられているからこそとあらためて感謝しております。

今後も、求められる支援を模索しながら、「農業」と「福祉」の双方にとってより良い事業となるよう推進に努めてまいります。10年…その先の未来へと続く事業となるよう、皆様方の‘声’をお聞かせください。

【農福連携作業現場見学会】

いわき市小川地区において、キノコの生産を大規模に行っている法人において、作業現場見学会を実施しました。

この見学会は、キノコ生産法人様が『農福連携事業』に興味を示していることから、いわき市の農政担当の方から情報提供を受け、近隣の事業所にお声がけさせていただき実施しました。

法人の代表から発注したい作業の説明を受け、事業所の受注できる作業の内容など話していただき、意見交換を通じてより良い受注につながればと考え実施しました。

利用者さんによっては野外の農作業が難しい方もおり、室内でできる作業の掘り起こしも課題となっております。

今後も、当会ではこのような取り組みを通じ農業の担い手・労働力確保に資するため、農業関係者の皆様との連携強化に努めてまいります。



【農福連携マルシェ】

5月6日(月)とうほうみんなのスタジアムで行われた、「ユナイテッド福島FC」ホームゲームにて農福マルシェを開催しました。地元サポーターや対戦相手のサポーター、来場者の皆様に県北圏域の福祉事業所で育てた、アスパラなどの野菜や6次化製品、会津圏域の事業所で作っているもち菓子を中心に授産製品の販売を行いました。特にもち菓子が「ユナイテッド福島FC」ホームゲームではすっかり定番の商品になり、お客様からも好評で商品をお勧めすると、『ここに来たらこれだよ』といいながら商品を手にとってくださる姿が印象的でした。今後も様々な場所で農福マルシェを開催し、販売支援を行ってまいります。



(担当：農福連携コーディネーター 渡部 栄昭)

《事務局から》

先にお知らせしました、アンテナショップ「福祉の店郡山」を開催します。

開催月日 令和6年6月14日(金)～6月24日(月) 10:00～17:30

開催場所 イオンタウン郡山 専門店棟(郡山市松木町)